

手引き⑫

★ ことわざに強くなる

一 ことわざとは

昔から人生の教訓や生活の知恵、物事の道理などを短く言い表した言葉をことわざといえます。口調（言い回しやリズム）がよく、印象に残る表現技法が使われています。先人の知恵や知識がつまっていて、現代の事象にもあてはまることも多いので、ことわざの代表的なものを覚えておくと、豊かな文章表現ができるようになります。

二 覚えておきたいことわざ

ことわざ	意味
雨降って地固まる	もめ事の後の方が、かえって前よりもよい状態になる。
石の上にも三年	つらくてもがまんして続ければいつかは成功するときがくる。
馬の耳に念仏	いくら意見しても効き目がない。人の意見に耳を貸さない。
猿も木から落ちる	その道の専門家でも、失敗するときもある。
灯台もと暗し	身近なことはかえって分かりにくい。
泣きつ面に蜂 <small>はち</small>	不幸に不幸が重なる。
猫に小判	貴重な物も、その価値がわからないものには役に立たない。
のれんに腕押し	はりあいも手応えもない。
身から出たさび	自分のしたことが原因で苦しむ。
焼け石に水	少しばかりの援助や労力では、まるで効果がない。
論より証拠	あれこれ論議するより、実際の証拠を見せる方が有効である。
笑う門には福来たる	笑顔の人には、自然と幸運がくる。
好きこそものの上手なれ	好きなことであれば、熱心になり上達も早い。
縁の下の力持ち	他人のために、人目に付かない所で努力を続ける人。

